

令和4年度 三島商工会議所 事業継続力強化支援計画 評価会議 報告

1. 日 時 令和6年3月18日(月) 14:00~16:00
※経営発達支援計画の評価会議も併せて実施した。
2. 場 所 三島商工会議所 4階会議室B
3. 評価委員 (順不同)
中山 勝 氏 (一般財団法人 企業経営研究所 常務理事)
寺田 敦 氏 (静岡県信用保証協会 沼津支店 保証第一課 課長補佐)
藤江 友彦 氏 (静岡県事業承継・引継ぎ支援センター サブマネージャー)
根津 勝人 氏 (根津勝人税理士事務所 所長)
玉置 久倫 氏 (中小企業診断士玉置事務所 所長)
4. 出席者 上記3. 評価委員5名
三島市より、山川 晃 氏 (産業文化部 商工観光課 課長)
三島商工会議所より、小島 信之 (中小企業相談所 所長)、
市川 顕 (中小企業相談所 所長)、宇水 淳 (経営支援課 課長)、
麻谷 暢恵 (経営支援課 主幹)、塩谷 洋司 (経営支援課 主任) 計11名
5. 評価方法 事務局から令和4年度の三島商工会議所の事業継続力強化支援計画の事業等の実施状況及び成果について説明をした。
その後、質疑応答を経て、各項目及び計画全体について、委員5名による評価を受けた。
6. 評価結果
 - (1) 評価基準
 - A (4点): 目標を十分達成している (達成度: 100%)
 - B (3点): 目標を概ね達成している (達成度: 80%~100%未満)
 - C (2点): 目標を半分程度しか達成できていない、どちらかという達成できていない (達成度: 30%~80%未満)
 - D (1点): 目標を全く達成できていない (達成度: 30%未満)

(2) 評価

【総合評価】 4. 0点 / 4点 (内訳: A評価 5名)

概ね計画に基づいて実行できていると思われる。静岡県東部地域は地震や富士山噴火など災害リスクが高い地域である。災害発生しないことに越したことはないが、災害発生時には担当割りした通りに職員が対応できないことが考えられる。想定外を考慮した対応策を構築すべきである。
BCPの策定件数を増やすことは限界がある。どのように対応すべきかを振り返りながら事業継続力を向上させていく方が現実的である。そのためにも、フォローアップを重視すべきである。

【各項目の評価】

項目	評価※	委員からのコメント
1. 事前の対策	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者には不要不急な案件になってしまうので継続的な周知が必要。 ・会議所、事業所共に作って終わりのBCPではなく、都度見直し改善していくことを意識すると持続可能なものになる。
2. 発災後の対策	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも変化が発生した時には対応することを考えて欲しい。 ・事例情報のデータベース化が重要である。 ・事前に具体的な対応方針の準備をしてほしい。
3. 発災時における支持命令系統・連絡体制	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・被害状況の収集は担当分けされているが、担当が動けないときの対策も要検討。 ・商工会議所内の安否確認などの連絡体系なども構築しておいた方がいい。
4. 応急対策時の区内小規模事業者に対する支援	4.0	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌、SNS、広報みしまを活用していて良い。 ・災害が発生した時の支援の用意はできていると思う。 ・過去の事例を活用した支援がより分かり易い。

※評価の値は、各委員の評価点数の平均値(満点は4点)となる。なお、C以下の評価を付けた委員はいなかった。